

**製品名:** ピルビン酸脱水素酵素 E2 (4A4) マウスモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMM03475

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 69 kDa; Observed MW: 69 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	DLAT
別名	DLAT; DLTA; E2; PBC; PDCE2
遺伝子 ID	1737
SwissProt ID	P10515
免疫原	ヒトピルビン酸脱水素酵素 E2 の合成ペプチド

## 背景

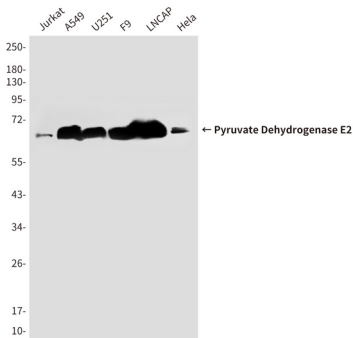
ピルビン酸脱水素酵素複合体は、ピルビン酸からアセチル CoA と CO(2)への変換全体を触媒します。この複合体は、ピルビン酸脱水素酵素 (E1)、ジヒドロリポアミドアセチルトランスフェラーゼ (E2)、およびリポアミド脱水素酵素 (E3) という3つの酵素成分

の複数のコピーを含みます。

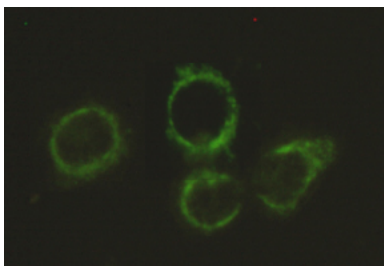
## 研究分野

シグナル伝達

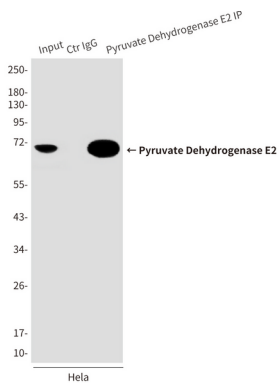
## 画像データ



ピルビン酸脱水素酵素 E2 抗体を使用した、Jurkat、A549、U251、F9、Lncap、および HeLa 溶解物中のピルビン酸脱水素酵素 E2 のウエスタン ブロット分析。



ピルビン酸脱水素酵素 E2 抗体を用いた HeLa のピルビン酸脱水素酵素 E2 (4A4) の免疫細胞化学分析。



ピルビン酸脱水素酵素 E2 抗体を使用した HeLa 溶解物中のピルビン酸脱水素酵素 E2 (4A4) の免疫沈降分析。